

第5回 持続可能な都市づくり懇談会 発言要旨一覧

《立地適正化計画（案）について》

発言骨子	要 旨
誘導施策の表現	○誘導施策について、国からの事業支援の部分は、国からの支援を使って市が何をするのか分かるように示すことが重要。
計画目標の表現	○移動手段におけるバスの利用率を意欲的に向上するように取組むことを市民に伝えるなら、パーセンテージだけではなく目標とする人数などで表現した方がよい。 ○統計の表現について、比較対象年度が視点毎にバラバラになっているが、揃えた方がよい。
評価指標の表現	○健全な財産経営の目標が資産を増やすとも受け取れる記述になっているが、新たに整備せずに農業集落排水施設を下水道施設として入れ込んで合理化を図ることであれば、タイトルを変更するか目標に説明を加えた方がよい。 ○法定計画として国に出す分には知っているので分かるが、一般市民が読んでも分かるように、誰に見せるかというところを意識して表現することが重要。
公営住宅の供給	○住宅セーフティネットの考え方からすると、困窮だけでなく、民間では供給が難しいファミリー世帯向けとか障がいの方たち向けにきちんと質が確保された住宅を供給していくという面で公営住宅は大事。
商業施設誘導の考え方	○大型店舗が郊外に進出して、中心地にある小売店はだいぶ衰退してきている中で、これから大型店舗の位置づけをどうやっていくのか気になる。 ○小売店舗の面積当たりの売上高の推移を見て、新潟市内における商業施設の建て詰まり状況を確認するなど、分析の視点を変えてみるとよい。
将来をイメージできるものの掲載	○「はじめに」から計画に入る間に、都市づくりへの提案のような本計画により形成される将来イメージが沸くようなものがあると、一般市民にも吸収されやすい。
今後について	○今後、立地適正化を進めるにあたって、区域毎に会議等をして、より具体的にやる計画・事業を検討することが重要。 ○今回の計画によりハード整備が進み、人の行動が変わっていく中で、ある一定の地域で色々な人が共存できる地域づくりにつながることを重要。 ○今後、この計画が地域にどのように反映されるのか、チェックしていきたい。 ○計画を踏まえて、地区毎にどのように具体的に動いていくのか、また動かすにあたり行政は何をすべきか検討することが重要。 ○駅の拠点化など大きな絵を描く話も大事だが、実際に一人ひとりの生活がかかっているところで都市空間を出していくというところの切実さ

	<p>が伝わってこないことが残念。</p> <p>○住宅困窮者の現状・原因などを踏まえて、今後、具体的な場所で動く検討をして欲しい。</p>
	<p>○今後、実際にまちづくりになると、雇用の話などハードではない部分が大事になるので、そういったところを含めて幅広く話を広げて議論することが望ましい。</p>
	<p>○地域的な特徴として一括した戦略的なものが古町には欠けているので、古町～万代～新潟駅の縦軸・横軸のしっかりした連携をやることが重要。</p>

《都市づくりへの提案について》

発言骨子	要旨
用語の使い方	○都市づくりにおいて「まちなか再生」という用語がよく使われるが、再生という言葉は元の状態に戻すという意味が強いと思うので、新しい形に進化していくという意味合いの用語に変えていった方がよい。
新潟湊の復元	○「新潟湊が新潟島に復元」がまちなか再生に分類されているが、堀の復元などを少しだけやるのがまちなか再生なのか疑問。 ○新しいものに展開して、もっと湊らしくするのであれば、貼付の昔の状況の絵は違和感がある。
都市のパーク化	○都市全体がパーク化とあるが、公園の中にテントを張って住むわけではないので、「緑が多い都心に住まう」など、表現を考えるべき。
スマートエネルギーシティの構築	○スマートエネルギーシティの構築について、なぜ必要なのか分からず、唐突感がある。
スローライフ・スローモード	○小型モビリティのことを取り上げられているが、ライドシェアやシェアカーもあり、色々なモビリティが内在し不便でないことを表現するため、「スローライフで多様なモビリティ」とした方がよい。 ○公共交通事業者もしくは行政が公共交通にカーシェアを位置付けるとか、公共バスの自動運転自動車など、新潟市として取り組む夢のある施策があってもよい。 ○公共交通機関がない地域の特に高齢者の移動手段確保について、実証実験も含めて検討して欲しい。
シビックプライド	○シビックプライドは、「個性化」「拠点化」だけでなく「まちなか再生」「田園暮らし」の4つを合わせたものなので、追加するべき。
マスコミの活用	○もっとマスコミを活用し、新潟市をアピールする策や、色々な意見をもらいながらシナジー効果を高めていくことも必要。

《その他》

発言骨子	要 旨
懇談会の意義	○この懇談会は委員会ではなく、立地適正化計画の策定に終始するのではなく、幅広く自由な意見を出せたことは非常によいこと。
パブコメのあり方	○市民の大半が何も見ないまま計画等が決まっていくことに対して、パブコメのあり方や基準等があった方がよい。